

【大阪府庁、池田保健所の食育の取組の現状と展望】 池田保健所長 大西 宏昭

大阪府では、平均寿命が全国に比べて低く、平均寿命と健康寿命の差が大きいことと、NCDと外因による死亡数の関連では、特にたばこ・高血圧の影響が最も大きいから、第2次大阪府健康増進計画を策定し、栄養・食生活等6分野の取組みにより、NCDの予防・心の健康を図り、

「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」「全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」を目指している。

栄養・食生活の目標値の設定においては、重点的に取り組む高血圧対策において、減塩の推進が追加された。

食育推進プロジェクトは、平成2年度、子どもを重点対象とした取組としてスタート小児肥満教室に始まる。当初は肥満児の

生活習慣改善への試み（ハイリスク・アプローチ）であったが、平成9年度より小児期からの成人病（生活習慣病）予防モデル事業開始し、肥満児だけではなく児童全員に授業を通して健康教育の推進（ポピュレーション・アプローチ）へ転換した。

大阪府食育推進計画（平成19年3月）、第2次大阪府食育推進計画（平成24年3月）を策定し、第2次では重点対象に新たに高校生、大学生などを追加した。

プロジェクトの主な内容は下記の通りである。

- ・ 保育所・幼稚園・小中学校への推進
- ・ 高校・大学等の若い世代への推進
（生活習慣病予防を重視した取組）
- ・ 家庭・地域における推進
- ・ 産地との連携
- ・ 外食流通産業との連携
- ・ 「おおさか食育通信」 情報発信
- ・ 重点的取組月間の設定

大阪府保健所は、これらの取組を地域単位で推進するコーディネーター的役割を担っていくことになっている。